

■橘三喜 神道家。橘神道を創唱。23年かけて全国の一ノ宮を踏査し、貴重な参詣記「一宮巡詣記」を遺した。
たちばなみつよし
参勤交替始・1635＝ 肥前国平戸で、平戸七郎宮の祠官大鳥刑部の子に生まれる。名は美津与志。

家光鎖国完成1641＝ 6歳：

明滅亡・・・1644＝ 9歳：

徳川家光没・1651＝16歳： 藩主松浦重信に認められ、神道を学ぶよう命じられて、まず、平戸神楽のもとになったと言われる壱岐神楽の地、壱岐島へ研修旅行、
野郎歌舞伎始1653＝18歳：

・・・・・・1656＝21歳：平戸に戻る。
明暦の大火・1657＝22歳：

松平信綱没・1662＝27歳： 駿府府中へ赴き、神道を吉田神道門人の駿河国浅間社神職の宮内昌与に入門、

酒井忠清大老1666＝31歳：
のち吉川惟足や吉田家に学んだと言われる。

・・・・・・1671＝36歳：

談林派俳諧・1675＝40歳： *江戸浅草の平戸藩藩邸を出発、諸国一宮巡詣の途につき、

徳川綱吉將軍1680＝45歳：

堀田正俊暗殺1684＝49歳：

生類憐令始・1687＝52歳：
・・・・・・1689＝54歳：藩主松浦重信が隠居。

生類憐令頂点1695＝60歳：
・・・・・・1697＝62歳： *浅草に帰着。実に23年間に及ぶ大旅行を終えた。その参詣記「一宮巡詣記」全13巻は、当時の一宮の社頭の様相を知るうえで貴重。

吉保大老格・1698＝63歳：
その後、宗源神道五十六伝と称して橘家神道を立て、浅草の藩邸において神道の講釈をし、その門弟は4千7百余人に及んだという。また、この調査に基づいて、平戸神楽を、現在国の重要無形文化財にまでなるものに、大成させた。
赤穂浪士切腹1703＝68歳：旧藩主松浦重信と同じ年に、没した。
武蔵国足立郡三室郷向山(上尾市)に葬られ霊社が建てられ、吉田家より一樹霊神の神号を贈られた。「中臣祓集説」「中臣祓集説蒙引」「神道四品縁起」「神道あつめ草」などの著作がある。